

# 議 事 録

会議の名称	令和5年度 第2回 愛荘町総合教育会議
開催日時	令和5年11月28日(火) 午後2時30分
開催場所	愛荘町役場 秦荘庁舎 2階 大会議室
出席者	<p>【構成員】7名</p> <p>町長 有村 国知    副町長 中西 功    教育長 徳田 寿</p> <p>教育長職務代理者 森 秀昭</p> <p>教育委員            松浦 延代    中村 由香里    黒川 泰守</p> <p>【事務局】9名</p> <p>政策監(総務)        生駒 秀嘉        政策監(福祉)        木村 美紀</p> <p>教育次長            上林 市治        学校教育担当課長    奥村 晃</p> <p>生涯学習課長        陌間 秀介        図書館館長            三浦 寛二</p> <p>給食センター所長    藤野 佳美        歴史文化博物館長    下村 今日子</p> <p>教育振興課長補佐    久保 泰代</p> <p>【傍聴者】0名</p>
議事日程	<p>協議事項</p> <p>「新たな教育課程の創造と新教育大綱の策定について」</p>
作成者	教育振興課 久保 泰代
教育次長	午後2時30分 開会
町長	<p>ただいまから令和5年度第2回愛荘町総合教育会議を開催いたします。開会にあたりまして有村町長よりご挨拶をお願いいたします。</p> <p>みなさん、こんにちは。本日は令和5年度第2回愛荘町総合教育会議にご出席をいただきましてありがとうございます。</p> <p>特に教育委員の皆様方には日頃から本町の教育行政に対しまして、ご支援・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。</p> <p>さて、この総合教育会議は、町当局と教育委員会とが愛荘町の教育について議論を深め、同じ方向性のもと、連携して確かな一歩を進めていく場と認識しております。</p> <p>本日協議いただくことになっております「新たな教育課程の創造と新教育大綱の策定」については、次期教育大綱策定に関連する議案であり、本日は次年度秦荘西小学校で実践予定の教育改革について相田先生より説明をいただく予定になっております。</p> <p>皆様におかれましてはこのような議題について協議いただき次期教育大綱に策定に向け教育委員会と共通認識をもちお互いに連携して取り組んでまいりたいと存じますので、皆様からのご意見を賜りますようお願い申し上げます。開会</p>

教育次長	<p>のあいさつといたします。</p> <p>ありがとうございました。会議の運営につきましては、愛荘町総合教育会議設置要綱に基づいて進めてまいりたいと思います。</p> <p>最初に次年度は現在の愛荘町教育大綱が計画期間の満了を迎え、新たな計画の検討の時期となります。委員の皆さまには日ごろ総合教育会議等で貴重な意見をいただき、教育委員会事務局では出された意見をうけとめ様々な愛荘町教育行政に反映するよう努めておりますが、計画期間が満了するにあたり、現状の課題や今後の方向性について具体的に議論が必要となりますので活発なご意見よろしくをお願いします。</p> <p>また本日は既に国で策定されました教育振興基本計画、滋賀県で策定予定の第4期滋賀県教育振興基本計画（素案）等の資料を配布しますので今後の参考としていただきますようよろしくお願いします。</p> <p>それでは早速ではございますが、設置要綱第4条によりまして、町長が議長になることから、会議の進行を有村町長にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。</p>
町長	<p>それでは設置要綱に基づいて議長を進めさせていただきます。ご協力のほどよろしくお願いします。申し上げます。</p> <p>次第の2 議題の協議事項、「新たな教育課程の創造と新教育大綱の策定について」にかかる意見交換です。それでは意見交換に先立ちまして、次年度実践予定の教育改革について秦荘西小学校 相田教頭より説明をしていただきます。よろしくお願いします。</p>
秦荘西小学校教頭	<p>「新たな教育課程の創造と新教育大綱の策定について」 資料により説明</p>
町長	<p>ありがとうございました。それでは皆様と意見交換をしたいと思います。</p> <p>相田教頭からご報告いただきました秦荘西小学校の取組は次年度町内4小学校のうちモデル的に1校で行うということでしょうか。</p> <p>そのモデルの期間というのは、1年間ですか。</p>
教育長	<p>そのとおりです。</p>
町長	<p>相田教頭に質問があるのですが、相田先生が考えるエージェンシーについて教えていただけますか。</p>
秦荘西小学校教頭	<p>子どもたちが未知なことに挑戦する時にどうすればよいのだろうと考えた時</p>

	<p>にまず目標を立てます。目標を立てて行動して、それを振り返りながら再チャレンジしていく。そのような仕組みがこの学びの羅針盤です。</p> <p>この羅針盤中の核となるのがコンピテンシー、能力です。能力を核に知識・技能、態度、価値観を回しながら、新たに創造する力を養っていかうとするもので、この羅針盤を子どもたちが自分で持っている設定です。</p> <p>大切なのは見通し(Anticipation)・行動(Action)・振り返り(Reflection)、AARというサイクル、このサイクルを回すことによってコンピテンシーを使いながら、改革を起こす能力を子どもたちにつけていかうといことですので、未知なものに挑戦するときに目標を持たせて実際に行動させて、そして振り返りさせる。それを続けることが成長を続ける。つまりエージェンシーを養うような学校教育であると私は認識しております。</p>
町長	<p>いろいろな教育の用語というのは時代とともに変遷もあると思いますが、おそらく今後エージェンシーという言葉が大事な価値として教育現場に定着させていくということになってくると思います。</p> <p>まさに今の時代というのは、「人」という部分が大事になってきて、言葉として昨今「人的資本経営」や「VUCAの時代」というのがビジネスの観点で触れられております。それらも全て目指しているのはエージェンシーという力をしっかり子どもたちにつけて、次の時代に引き継いでもらうということだと思いますので、その力をつけていけるように支援をしていければと思います。</p> <p>さらにこれらの大きな改革を私達が大事にする価値だというふうに捉えたときに保護者の方々と共通理解を持っているということが大切になってくると思います。啓発やレビューに力を入れながら、良い成果が出てくると良いと思います。</p>
副町長	<p>2点お話をさせていただきたいと思います。まず先生の方からいただいた資料の中に、「学校の当たり前を見直す R6 秦西小改革」というふうに記載されていますが、当たり前すぎるような話に気づかなかつたりそこに手をつけることが難しかったりしますが、資料全体に学校の当たり前を見直すということを掲げていただいて、取り組もうとされていることは心強く感じます。</p> <p>内容につきましては、学年担任制の部分です。先ほどお話があったようにベテランの先生と1年目の先生と、担任の先生が誰になるかで児童が不安に思う要素があると思いますが、そこを交代で入っていただけるとなると児童と担任の先生との相性もあるので、ころころ変えることに不安はありますが、それを補ってチームで児童を見るのは良い仕組みなのかなというふうに感じました。</p> <p>それからもう1点はこの会議の前に読んだ「発達障害と間違われる子どもたち」という本によると、クラスの中で勉強を学ぶ際に難しいなと感じる子どもが最近増えているという統計も出ているが、発達障害と診断を受けるというのは専門的</p>

	<p>な検査をしっかりとしないといけないので本当はそれほど多くないのではないかと書かれています。今は保育園や幼稚園小学校の先生の知識も増えているし、また親御さんの知識も増えているので、ちょっと気になる行動があると親御さんも先生方も本当はそうでなくても、発達障害というふうにみんなが思ってしまうそういう子どもさんたちがいるのではないかと。そういった状況を「発達障害もどき」という表現をされているのですが、そういった子どもさんの中には含まれているのではないかとということが書かれていました。</p> <p>例えば早生まれの子どもさんは年齢が小さいときは4月生まれと3月生まれで1年間体の育ちが違うので、早生まれの子がそのように見られがちであるが、1年経って見たら全然そんなことなかったということや、幼稚園に通うぐらいの子の親御さんの生活パターンが深夜まで起きているような状態が続いていて、それが原因ということで問題行動・気になる行動があるということがあり、生活リズムを変えて8時に就寝するようにしたら、その目立った行動が見られなくなったと書いてあって、これは親を含めた家族全体の生活環境を整えるというのも大きな要素であるということが書いてありました。</p> <p>現在の教育大綱の中にも就学前教育の充実ということで教育委員会もちろんしっかりと担っていただいているところですが、町長部局の福祉部門もしっかりと関わっていかないといけなければと思いますし、未来を拓く愛荘 16 年教育の中でも胎児のときから見据えての教育、人育てに取り組んでいくというようなことを掲げていただいているので、生まれてくる前から人育ち、育てということに教育委員会と町長部局とが一緒になって取り組んでいく必要があると感じました。</p> <p>それでは、委員の皆様からご意見を伺っていきたく存じます。</p> <p>やはり行動することが大切と思いました。</p> <p>何もせずに現状維持では何も成長がないですし、逆に同じことをしていたらこの時代は保つ事すら難しいかなと思いました。そのためこの改革は、すごく良い行動だと思います。</p> <p>その中で思ったのは、先生は頑張っていただいているのはよくわかりますが保護者も頑張らないといけないと思います。今は保護者と先生は昔とは違う付き合い方になってきていると思いますが、もう少し保護者を巻き込んでいってほしいと思います。</p> <p>例えば私の息子が所属していた野球部の話ですが、2年生までのチームは先生と生徒の繋がりはあっても保護者はバラバラでした。でも今の監督や先生は練習を見に来て球拾いでも何でも参加してくださいと言ってくれるようになりいろいろな情報も送ってくださるようになりました。</p> <p>すると親も子どもも先生も一丸となり、子どもの性格や、選手の名前を覚える</p>
--	---

町長

黒川委員

	<p>ようになり応援をするようになりました。応援すると子どもたちもその気になり、この繋がりの中で決勝まで毎行けるようになりました。そのためそういう繋がりも大事と思います。安全上や防犯上難しいかもしれませんが、自由参観等でクラスのみみんなの名前を覚えるとか性格を覚えられる場所があればまた新しい革新や、いろんな動きも出てくるのではないかと思います。先生が頑張ってもらえるのもわかるのですが、保護者ももっと頑張っていきたいと思うので少しでも実現できたらと思います。</p>
町長	<p>私達が大事にしたいと思っている価値への共感ということがより進んでいくには保護者をどのように巻き込んでいくかそこが大切だと思います。</p>
中村委員	<p>3つほどお話をさせてもらいます。</p> <p>教育大綱が新しく変わるということで、対象者が今まで中学生までだったのが18才までに変更になり、そこまで面倒見なくてはいけないのかという意見もありますが、その話を聞いて自分の子どものことで思ったことがありました。</p> <p>私の長男が20歳過ぎた頃ちょっと困ったことがあって、小さかった頃の本人の資料を探すことがあり、町に1歳とか2歳ぐらいのときの情報が残ってますかと問い合わせをしたときに、20歳を超えられるので破棄してありませんというふうに言われて、それがもしあったら今でも使えたのになっていう思いがありました。今回の18才になるまで見守ってもらえるというのはいろんな困っているお家にとってはすごく心強いなという気持ちになって、相談するところがないわけではないのですが、いろんな人に頼ることができるというのがわかるだけでも親にとっては心強いので、そういうサポート体制があるんだよってというのが目に見える形であるといいなと思いました。</p> <p>また学校訪問させていただいて、印象的だった言葉があったのですが「環境設定を考える」ということで私達が今まで生きてきて、どうすれば怪我しないかとか、どうしたらこんな答えが出せるかというのは知っているわけですけども、子どもたちにそのヒントを見せておくのかそれとも隠しておいて子どもが聞いてきたときにそれをちらっと見せるのかという、その環境をいつ与えるかによって、その後のその子の伸びや結果が変わってくるというお話があってそのとおりだなと私は思いました。できれば子どもには幸せに元気に育てほしいし、なるべく痛い思いとかつらい思いをして欲しくないということで、こうした方がいいよと先回りになってしまいます。ただその結果は子どもにとって本当にためになったのかどうかというとケースバイケースで子どもによってベストは違うと思うので、いつそのアドバイスをするかというのは技がいると思います。そのため専門的な学校でそういうところが生かされていくとよいというふうに思いました。</p> <p>今回西小学校のお話を聞かせてもらって、毎年年度初めに校長先生方からいろ</p>

森委員

いろいろ話を聞かせていただきますけど、毎年出てくる子どもの課題というのはいつも一緒に変わらないなという印象があって、同じことの繰り返しというふうに思っていますが、それが変わっていくような期待があるなと思って聞かせていただきました。

一番びっくりしたのは担任制を変えるということです。1人ではどうしても偏った見方になってしまうので、複数の先生が見るという事はいろんな子どもの姿を見つけることができるだろうと想像できるのですごく楽しみです。ただ先生が変わることで、子どもから値踏みされてしまうのではないかという不安もあります。また先生同士でライバル意識が高まってしまうのではないのかなとも思います。しかしこれがどうなっていくのかなという楽しみがとても大きいです。

学校の教育目標ですが、毎年新しい年を迎えるにあたっていろんな先生や保護者のアンケートを見て、どうするのが良いか非常に苦労したという記憶があります。

子どもが変わるわけではないので大きく変えるものよくないし、一部分だけ変えてみようかと相談したり、具体例の中で文言を加えてみたりいろんなことやっていたのですが、10年離れてしまうと時代が変わってしまいますので、いろんな情報を耳に目にしながら、学校の先生とも話す機会を大切にしています。

相田教頭は中目黒の小学校の取組について聞かせていただいた際、「あれだけは力を入れたい」「こういうルールを促していきたい」「こういう部分はちょっと押さえていきたい」という様々な案を出していただきました。話を聞いた時にこれが1年・2年でスムーズに進むかというとなかなか難しい面もあると思います。

保護者にどこまで理解していただけるかというのが学校としてもPTAとしても地域としても苦労が出てくると思います。

働き方改革と言いながら、大変なことも出てくる場合もあるんだらうと自分自身も感じます。

子どもたちは1学期間くらい過ぎたら慣れてくると思いますが、プラスからマイナスの部分をどういう形でフォローできるかいうことを考えていかななくてはならないと思います。そしてそれをするには、教師の意識改革が非常に大きいと思います。

40分授業で5時間について、今まで45分の授業をしてきた者にとって40分授業をすることは確かに集中できますが、場合によっては40分間ずっと授業ができない場合もあります。だからそういう部分をどのようにしていくか考えていかなければならないと思います。

そのためこの改革でやはり一番中心になるのは教師の考え方だと思います。教師の力が影響してくると思います。子どもたちはこんなことするの？何するのと言いながら、この先生面白いな、この先生もよいな、この先生知らなかったけどこんな良いところあるとか、今後は先生が子どもを評価するのではなくて、子ど

<p>松浦委員</p>	<p>もが先生を評価するということになります。例えば家の会話の中で今日の授業面白くないと言ったら、保護者もこれはよくないという意識を持ちます。でも子どもたちが途中からでも今日こんな素晴らしいことがあった、こんなことができた。という話を聞くとやはりこのやり方もいいな、こういう考え方にはこういうのもできるな、それでは親として応援したいなそして学校というものにできるだけ近くに寄り添いたいなと思われるようになってもらうために教師の力というのが大きく影響すると思います。</p> <p>ただあまりに焦りすぎて、行き詰まってしまうよりも、ゆとりを持って進めてもらうということも必要ではないかと思います。</p> <p>私も秦荘西小学校のこれからの改革の取組に期待しています。</p> <p>全然関係ないと思うのですが、私の子どもの頃の短縮授業は何か行事があるとその日の50分授業を45分授業にするとか、短い授業になり嬉しかったです。子どもたちに新学年になったときに、今まで45分授業だったのが、5分短縮されて40分になるよ。だから午前中は5時間取れるというようなことを言われてもすぐには理解できないと思うのですが、短い授業というと真剣に集中できるだろうという期待を持っています。その時に先生も一生懸命教えようとは思われると思いますが、子どもたちに授業を引き付けられるような楽しいわかりやすい授業をしていただきたいと思いますし、はや走りしない子どもたちが理解できるように、ゆっくりと丁寧にわかりやすく授業を進めていって欲しいと思っています。</p> <p>それから小学校はフリーの先生の数は少ないと思っているので、担任が交代されるとか2人の先生が3つの学年を超えて授業をされるという想像がなかなかつかないかなかったので、例えば県費の職員ではなく、町費の先生を入れられるのかなと思っていたのですが学年主任が入ってくださって、授業を行われるということで、先生方のお仕事の責任が重くならない程度に先生たちが授業内容や子どもたちの性格等を共有して、きちんと進めていただけたらいいなと思います。</p> <p>また秦荘西小学校がモデル校としてこの取組を進めていただきますけれども町内にはあと3小学校があるので、町内の子どもたちの温度差があまり出ないように中学校へ行っても、学習的な形態がうまく反映できるように行っていただきたいと思っています。</p> <p>どんな授業展開されるのかどんな学校になるのかすごく楽しみでわくわくしています。いい報告が聞けるように願っているところですが、あまり先走ることなく、地についた授業、学校運営をしていただけるようによろしく願いいたします。</p>
<p>教育長</p>	<p>町内学校に秦荘西小学校のモデルを広げていきたいと思っていますが、秦荘西小学校は目黒区の先進的な事例を学ばれ、独自にタイムスケジュールを作って、アプローチをされているというところで大変素晴らしいと思います。</p>

<p>町長</p> <p>秦莊西小学校教頭</p>	<p>そもそも学校の教育課程というものは校長が編成できますので、一律でない特色ある教育課程の方が面白いです。そうは言え、この改革は大胆な改革なので東京の目黒でも全部の学校でやっている訳ではありません。しかし小さな町ですので秦莊西小学校の後に続く学校はそのエキスを十分秦西から学び取っていただきたいです。</p> <p>また保護者の方には丁寧に、その都度声を聞いていく必要があると思います。ただ私が思っておりますのは保護者の方に 100%納得を頂かないと前に進めないというのは少し違うと思います。それは現場の改革の言い訳になっていると思いますので両輪でやっていく必要があると思います。いきなり初年度から 100%ご指示を頂けることはないだろうと思っておりますが十分な説明をし、そしてPTAの方やコミュニティスクールの力も借りながら進めていくことが必要ではないかと思っております。</p> <p>情報発信はいつ位から行う予定ですか</p> <p>これは学校の当たり前を崩しているので本当に大改革だと思っています。ただ先ほどから皆さんのご意見を聞いているのですが、これは本校の意思でさせていただいています。もちろんある教育長に目黒の紹介および情報も得ていますが、本校昨年度は2学級が不安定になり、そして担任が仕事も休んでしまいました。そういった中で隣のクラスの先生が懸命に一生懸命支えました。けれども自分のクラスがあるので支えきれない。そういった中でフリーの先生はその学級の担任に回っている。そうすると学校全体が見えない。それではどうしたらよいのだという必然の選択の中で私達はこの方法を選びました。これは職員の総意です。今から明日の会議でも細かい選択をしていくのですが、そういった思いをまず保護者に伝えなければいけないと思っています。</p> <p>今後のスケジュールですが、12/19に学校運営協議会があります。そこで地域の方PTAの方が来られます。その中で今のプランをお諮りする。今の改革案はもちろん保護者の意見も含まれており、2学期にアンケートしました。その中には学級や学校によって進め方が違う。担任によって方向性が違うという課題もいただきましたので、1月にそういった課題も含めての学校の改革案をお答えとして学校だよりで示します。そして方向性を示したうえで2/2に学習参観がありますので、そこで保護者会を持って説明をしたいと思っています。ただ欠席の方等に向けて、質問はパブコメ方式で皆さんにホームページ等で一問一問丁寧に答えをしながら、対話しながら次年度に繋げて行きたいと思っています。</p> <p>また我々がこの制度を取り組むきっかけはこの写真です。この写真は兵庫県川西市の小学校で昨年度から学年担任制・40分5時間制を取り入れた学校です。この写真は3時10分の職員室の様子です。ここで楽しそうに子どもたちの情報を共有する職員を見せていただいたときにこれが目指したい学校だなと思</p>
---------------------------	---



町長	<p>いました。</p> <p>そしてもう一つ必要なだと思ったのが共通の目標です。同じ共通の目的のもと、子どもたちに接しこのように情報交換して、学校を作っていこうと思いました。ここまで来るまでいろいろな苦勞もありましたが、新しいことに挑戦しようと思ったのは昨年度のような苦い思いをしたくないからです。</p> <p>1人の教員が責任を背負い込むそして子どもたちが不安定になるそういったことを少しでもリスクを減らし安心して過ごせる学校になるためにこういうことが必要だと思っております。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>大変貴重なご意見、また相田先生はありがとうございました。</p> <p>それでは最後に教育長の方からご挨拶をお願いいたします。</p>
教育長	<p>今日は学校・園訪問の学びそして秦荘西小学校の次年度構想の提案からの学びいろいろ勉強させていただきありがとうございました。</p> <p>学校・園訪問の中では就学前で良い芽が育ってきているにもかかわらず小学校で少しブレーキがかかっているのではないかと感じました。就学前の子どもたちは自分の遊びを求めて自分で選択したり、自分で決定したり、自分の言葉で表現したりしていると思います。それを小学校になると教え込んで自己決定・自己選択・自己表現というところにそんなつもりではないんだけど、結果としてブレーキをかけてしまっている。私が今まで行ってきた授業研究というのは、教師の描く学習のベルトコンベアのところ子どもをいかに上手に乗せるかということで、うまく乗ってくれるとよい授業であったが、今はそうではありません。指導者主体の学びから学習者主体の学びでないのだめだと思えます。言い方を変えると、子どもや人は育てるものではなくて育つものであると思えます。その発想に立たないと、いろんなことをかえていけないと思っています。町長からもVUCAという言葉がありましたし、黒川委員からは現状維持ではダメだということもありました。私も現状維持は後退に等しいと思っていますので、やはりVUCAの時代にあって、何もしていないというのは、罪なことであるというふうに思っております。それは失敗するかもしれませんが、先手を打つということがないといけないと思えます。ただ皆さんからご指摘あるように、その先手を打つ時には声を聴くとか、声を聴いたうえでもう一度向き合って方策を考えていくという手順は必要であると思っています。</p> <p>学校の当たり前を見直すというのは、何々しなければならぬものからの脱却であるというふうに思っています。</p> <p>ただその中には変えるべきでないものもありますし、変えないといけないもの、その辺の調和が必要かなと思いました。</p> <p>軽く考えているわけではないのですが、打って出て駄目だなと思ったらもう一</p>

教育次長	<p>度戻るとか方法を変えとかが必要かなと思います。少なくとも、何もしないでルーティーンを行っているよりはるかにレベルが上ではないかなと思います。</p> <p>今後新たな教育大綱を策定していく上に当たって、皆さんからこんなキーワードが大切ではないか、今国の方では資料にもありますように2つの大きな観点があります。私もいろいろ盛り込みたい観点があります。1つは自律でありますし、もう1つはワンランク上のキャリア教育というものも考えたいと思っています。</p> <p>そうした重要なキーワードについて今後も議論を重ねてそして来年度決定できればよいかなと思っていますのでどうかご意見をお寄せいただきたいと思ひます。今日はいろんなご意見を聴かせていただきありがとうございました。私もまずは秦西小の改革をいろんな形でバックアップしながら、またもちろん全ての校園の教育活動が充実するように教育行政としての支援を行っていきたいと思ひます。またその際には社会教育との連携もしながらまた、町長部局との連携も十分にしながら進めていきたいと思ひておりますので今後ともよろしくお願ひいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>大変ありがとうございました。</p> <p>本日はこれで教育総合教育会議を終了とさせていただきます。</p> <p>午後4時00分閉会</p>
------	---